

行スレドモ、必シモ關係ヲ有セズ。

12) 非結核屍ニ合併スル肋膜炎ノ頻度ハ44.2%ニシテ、死因疾患中惡性腫瘍遙ニ多ク23.3%、之レニ次グハ肺炎ニシテ13.4%、肺炎以外ノ肺臓疾患ハ1.56%、腎臓疾患ハ4.8%、心臟疾患4.2%、腦出血3.7%、其他各種疾患アレドモ何レモ低率ナリ。

13) 結核屍ニ合併スル肋膜炎著ハ廣汎性ノモノ多ケレドモ、非結核屍ニ合併スルモノハ散在性又ハ小部分性ナリ。司法解剖ニ據ル所謂健康屍ニ合併セル肋膜炎著ハ廣汎性ノモノ少ク、散在性又ハ限局性ノモノ多シ。即チ結核性ノモノハ廣汎性ニシテ非結核性ノモノハ散在性又ハ限局性ナル傾向ヲ有ス。

14) 小兒屍ノ肋膜炎ハ病屍例ニ於テハ成人ノ夫ト趣ヲ異ニシ粘著セルモノ多ク換言スレバ新鮮ナルモノ

多ク陳舊ナルハ少シ。癒著範圍ハ散在性又ハ部分性ノモノ多ク廣汎性ノモノ少シ。

15) 小兒屍ノ肋膜炎ハ結核ヲ合併セルモノ20.0%ニシテ非結核屍ニ伴ヘルモノ多ク、就中肺炎、水癌、「デフテリー」ニ續發シテ化膿性肋膜炎ヲ招來セリ。

著者ハ以上ノ調査成績ヲ綜合シテ、肋膜炎ハ諸疾患中最モ多キ疾患ナリト做シ、更ニ論及シテ、結核殊ニ肺結核ト密接ナル關係ヲ有スレドモ、非結核屍ニ於テモ多數之レヲ認メタリ。殊ニ特發性肋膜炎ノ發症論ニ關シ一部ノ學者ノ主唱スルガ如ク、特發性肋膜炎ハ悉ク結核性ナリト極言スルニ對シ著者ハ疑義ヲ有スルモノナリ。更ニ司法解剖例ニ據ル所謂健康屍ノ肋膜炎ニ就テ一層此感ヲ深クスト云ヘリ。

(臺北、天野抄)

會報並雜報

○八月中新入會者

前 原 勝 樹	桐生市天神町一丁目	内
二 川 虎 雄	長野縣諏訪郡富士見村富士見高原療養所内	日本赤十字社大阪支部病院呼吸器病科
阿 保 龜 之 助	弘前市百石町阿保内科醫院	川 口 善 友 名古屋市中區岩塚町八
伊 藤 嘉 奈 太	長野縣上高井郡小布施新生療養所	

○評議員ノ訃

評議員天兒民惠氏九月十六日逝去ス本會ハ會長名ニ

ヨリ靈前ニ弔辭並供物ヲ呈シ謹ンテ哀悼ノ意ヲ表セ

結核第13卷、第7號、高村論文正誤表

頁	行	側	誤	正
24	上ヨリ 21		Knotenbildung, so kommt	Knotenbildung koagulieren, so kommt
544	下ヨリ 5	右	造結締組織細胞トナリ	造結締組織細胞ノ結締組織細胞トナリ
545	下ヨリ 7	右	排出ニヨリ空洞ノ大サハ	排出ニヨリ空洞ヲ形成スルコトアルベク空洞ノ大サハ
546	上ヨリ 5	右	闘争ニテ	闘争シ